

介護老人保健施設 フォレスト熊本 だより -forest Kumamoto-

第57号

2013 May

# やすらぎの森

発行



介護老人保健施設  
財団法人 福仁会  
フォレスト熊本  
(江南病院併設)

〒862-0970 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37  
TEL.363-0101 FAX.363-3363  
E-mail: forest@kyouninkai.jp

HP <http://www.kyouninkai.jp/forest/>

発行責任者 上妻和夫

## 祝 フォレスト熊本 15周年

15周年を迎えて…

看護介護部部长

佐伯文代



フォレスト熊本が誕生して15年、いつの間にかご利用者もスタッフも、覚えきれないほど多くの人々に関わってきました。地域の人に喜んで使っていただけ、どこにも負けない施設を作ろうと決心し現在に至っています。世の移り変わりとともに、世間のニーズも変化しており、本当にニーズに合ったサービスの提供ができているか、定かではありませんが、常にご利用者の立場に立って考え、実践しようとする気持ちは今も変わっていません。

十数名から始め、広いフロアがさみしげだった通所も、手狭になり活気あふれるフロアとなりました。三味線が得意なご利用者の音に合わせて皆で歌ったり踊ったり、お天気の良い日は、ドライブといって遠くは金峰山まで出かけていた日が懐かしく思い出されます。入所も2階フロアのみでの開所から始まって、徐々にご利用者が増えていき、3階を開所したときは感慨深いものがありました。3階の窓から景色を眺めながら絵を描かれるご利用者に寄り添い、胸が熱くなったのを覚えていきます。

当時の職員もわずかしが残っていません。職員が入れ替わっても「地域にあるフォレスト熊本」の基本姿勢を受け継ぎ、皆様に愛される施設としてこの地に建っていたと思います。

### フォレスト熊本15周年記念歌

『フォレスト賛歌』

1. 真澄の空に 桜吹雪 映えて  
やすらぎの森は 希望に輝いて  
雄々しくそびえ立つ桐の大樹こそは  
時を刻んで 我等を見守る  
集う人々の 命の華を  
愛の翼でつつむ フォレスト熊本

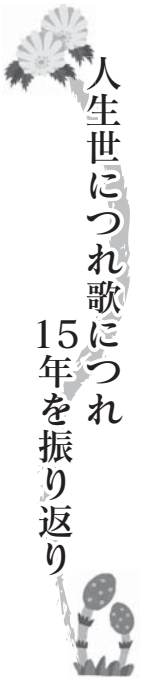
2. はるか大阿蘇の 恵み受けて湧でし  
尽きることなく 流れる白川は  
あの日から続く 寄り添う想い胸に  
永遠に つなぐ 絆に似て  
集う人々の 命の華を  
夢の羽衣装う フォレスト熊本  
あゝあゝあゝ  
ともに明日を歩む フォレスト熊本



笑顔がいいね！フォレスト熊本フェイスブックページを開設しました。

フェイスブックを新たな広報手段として活用し、旬な話題などを幅広く元気に発信します。皆様の「いいね！」をお待ちしております。

## 人生世につれ歌につれ 15年を振り返り



通所リハビリテーション 主任 池田憲治

あれから15年、成人したばかりの職員は、いつの間にか親になり、歳を重ねただけではなく、介護福祉のみならず歴史や文化・音楽や書道等いろんな事を学ばせて頂きました。私も何不自由なく、大好きなこの仕事が出来ていることに、歴代の施設長や仲間、ご利用者・ご家族・関係者の皆様に心から感謝をしています。

初めて、フォレスト熊本の玄関をくぐった時は、ホテルのような美しさに「スゲー」と思いました。「ハード面は、どこにも負けない。それに加えソフト面で、県内トップと言われる施設を目指そう。そして、自分の家族を利用させたい、自分が入りたい施設づくりを目指したい」と誓い、無我夢中で頑張っています。通所には、12台しかなかったテーブルも50台になり、4名だった職員も30名を超えました。全体では、開設時からの仲間8名は、今もなお奮闘しており、退職したメンバーもいろんな行事に駆けつけてくれます。ボランティア登録も、今では18名と様々な活動を行っていく上でなくてはならない存在になっています。

長い年月の中で、たくさんのお出会いと別れを経験していく中で、いろんな事を学ばせて頂いています。利用者や先輩から渡されたタスキを受け取り、しっかりと繋げていくことで、今後さらにフォレスト熊本を発展させていきたいと思えます。これからは、ご指導の程宜しくお願ひ致します。

桐の花皆を見守り十五年つないだ絆幾千人よ

## フォレスト熊本とわたしの15年を振り返って

### 通所リハビリテーション主任池田と対談

岩永節子様

Q フォレスト熊本通所利用15年、振り返ってみてどうでしたか？

もう、15年も経ったのね？あの頃、仲が良かった人でいなくなったり人もいるね。淋しいと思う事もあるけど、新しい友達が出来たし、知っている職員さんはいっぱいいるけん。来るのは、楽しい。フォレストはこれからも変わらないうでいてほしい。池田さんもずっとここで歌い続けてください。

Q フォレスト熊本へ来ることになったきっかけは？

始めは、絹脇先生に「裏にリハビリの施設が出来たから行ってみらんね。」って言われて、行ってみた。「とても、楽しい所。」と言われて、行ってみたら（通所利用者）5人ぐらいいいとおんなはらんで、静かだった。



Q 今は何が一番楽しみですか？

私は、一人暮らしでどこでも行こうと思えばタクシーで行けるけど、一人で行っても楽しくない。気の合う友達や職員さん達と一緒に行くのが楽しい。

以前は、書道・絵画・生け花・短歌俳句等たくさんサークルに参加する事が楽しかったけど、今は皆とお話をして、ワイワイするのが楽しみになった。歳をとると、一人は淋しくなるから皆と一緒に良くなるのかもしれない。しかし、話もできんぐらいボケると困るから、頭の体操（学習療法）だけは、参加する。

Q 最後に長生きの秘訣は？

それじゃ、5か条にしましょう。「のんきに過ごす事」「よくよくしない事（なんでも忘れても気にしない）」「果物をたくさん食べる事」

「家に閉じこもらず買い物やドライブに行く事（お金を使う事）」  
「フォレストに休まないで行く事・・・」（Q 時々休まれていますが、いかがですか？）  
A それぐらい適当がいいのよ

十五年施設の人に助けられボケも進まず八十五なり





## 新入職員紹介

①宇佐 祐香  
(うさ ゆか)



②理学療法士・  
リハビリテーション科

③食べること、温泉

④頑張りますので、  
ご指導よろしくお願いします。

①品川 有希  
(しながわ ゆうき)



②介護福祉士・  
3階療養棟

③ライブに行くこと

④不安でいっぱいですが  
一日でも早く仕事を覚  
えて一生懸命頑張っていきたいです。  
よろしくお願いします！

①長井 慎之介  
(ながい しんのすけ)



②介護福祉士・  
2階療養棟

③ジョギング

④まだまだ未熟ではありますが、  
フォレスト熊本の職員として自覚と責任を持って  
業務に取り組めます。

①中間 博章  
(なかま ひろあき)



②介護福祉士・  
3階療養棟

③2ヶ月前から始めたギター

④初めての社会人で不安も  
ありますが、一日でも早  
く仕事を覚え常に前向きな気持ちで頑張  
りたいです。ご指導よろしくお願いします。



### 託麻原校区

### 『声かけ・通報模擬訓練』

支援相談室 安部 琢磨

平成25年3月3日(日)10時～12時、託麻原小学校体育館にて、託麻原校区社会福祉協議会地域支え合いネットワークの主催により「声かけ・通報模擬訓練」が開催されました。

誰でも起こりえる家庭内の異変や徘徊を想定し、地域での声掛け・通報について訓練しました。参加者のみなさんは、体育館内を徘徊している高齢者役の方への声掛けに戸惑いながらも、事前に寸劇で見た内容を活かしながら、声掛けから通報までの訓練を経験されました。

高齢となっても住み慣れた地域で、みんなが安心して暮らせる託麻原校区を目指して、すべての住民が見守り応援隊となって、支え合っていこうという気持ちが大切です。沢山の地域住民の参加と社会福祉協議会の方を始め、消防、警察、地域包括支援センター等多職種の参加があり、情報共有が出来たこと、協力体制が目に見え、今回の「声かけ・通報模擬訓練」はとても有意義なものとなったと思います。今後とも、万が一に備え、皆様のご協力をお願いいたします。





# ありがとう

## ボランティアの皆様へ 感謝を込めて…

アクティビティ推進室  
椎原 圭代

去る3月15日の金曜日、一年間のボランティア活動に感謝の気持ちを込めて「第15回フォレスト熊本ボランティア感謝の集い」を開催いたしました。総勢46名のボランティアの皆様と家族の会から4名の方に足をお運び頂きました。

活動報告と意見交換会を行い、傾聴ボランティアの片山千鶴子様、CAPPP活動の江口富子様より日頃の活動の様子や、感じた事などを報告して頂きました。

交流会は華麗なフルート演奏で幕を開け、食事をしながらボランティアの皆様同士、また職員や家族の会の方とゆっくり歓談して頂きました。

お楽しみ抽選会では先生方より素敵なプレゼントを提供していただき、見事に当選された方から大きな歓声が沸き、盛り上がりしました。

最後になりましたが、ボランティアの皆様には開設当初より温かい目でこの施設を見守って頂き、惜しみない協力と貴重なご意見を頂戴し、本当にありがとうございます。これからも、皆様に気軽に足を運んで頂けるよう、そして共にご利用者に寄り添い、充実した毎日を過ごして頂けるよう、ご協力の程よろしくお願い致します。



### 家族の会

### 「春の茶話会」開催

支援相談室 安部 琢磨

平成25年3月9日(土) 13時～15時フォレスト熊本5階ホールにて、開催しました。利用者ご家族へのアンケートにて施設への意見要望を事前に頂いており、回答させていただきました。また、茶話会では家族の方々の意見交換という事で時間を設け、介護者同士で介護の悩みを聞き、情報共有するいい機会となりました。今後も開催を予定しており、ご利用者やご家族が施設に望む「より良い介護」を目指して、話す事が出来る貴重な場ですので、多くの方の参加をお待ちしております。



# 平成24年度 熊本県老人保健施設大会発表

支援相談室 安部 琢磨

平成25年2月7日(木)・8日(金)に熊本県老人保健施設大会が熊本テルサにて開催されました。フォレスト熊本からも3題の発表と、シンポジウムにて東日本大震災災害派遣について発表をしました。

今回の発表では、谷内聡仁(支援相談員)の『安心して生活を続けたい』支援相談員の使命は「在宅生活」「地域生活」への復帰支援」という演題発表が優秀賞をいただきました。在宅復帰支援という施設の役割を果たすため努力している事を評価されたと思います。

今後も、各部署で事例研究、研修会などへの積極的な参加を行いご利用者へご家族の満足度向上に尽力していこうと思います。



優秀賞受賞 谷内 聡仁

## ご利用者の作品

選 松岡 妙子 先生

冬眠より醒むる木の芽の息吹かな立田の山の緑おぼろげ  
 厳寒の冬を耐えたる榎(たら)の芽の棘もつ幹より若芽萌え出づ  
 冬枯れの野に立ち遠く目をやれば阿蘇の山並み夕陽に映ゆ  
 パンジーの花々庭に咲かせつつ老いの孤独を忘れておりぬ  
 山肌に一刷毛淡くたゆとうは春のかすみかさわやかな朝

ちらほらとつばめ飛びかう畑の上弥生もいまだ半ばというに  
 スモッグに見えぬ街並みぼんやりとガラスの群れか飛びてゆきたり  
 良くなれと夫の手さすりさすりつつ語る思い出 秋深みゆく  
 日だまりにふれ合う犬(チロ)がわれの掌をペロペロなむる舌の温さよ  
 スイレンの根元にグッピー身を潜め産卵を待つ神秘的なり

六師団跡の赤門枇杷の花  
 うぐいすの声天空の湯につかる  
 ああうまか名残りの春の祝い酒  
 渡り鳥雲のかなたへ消えゆけり  
 来る年も又相見むと花の散る  
 白木蓮残り葉一ひら散りかねつ

橋本 静恵	竹下 富恵	山下リツ子	村上 洋子	井上 止吉	濱村アヤ子
内田 睦夫	村上 洋子	柳辺 朝子	迎田 友子	職員 椎原圭代	

## 総 評

長い道のりを歩いて来られた皆様の、短歌や俳句にふれながら、ふと涙ぐむことも有ります。美しい自然や、人の優しい心に触れたとき、心に湧き上がる感情を、力まずに易しい言葉で表現していつて下さい。及ばずながらお手伝いさせて戴きます。どうぞよろしくお願い致します。

## 編 集 後 記

5月に入り暖かい日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。3月末から4月にかけて桜の花も満開となり、療養棟でもお花見の行事を行うことができました。新年度となり、別れの季節でもありましたが同時に、フォレスト熊本へも新入職員が入ってきました。

私は先月で入社して3年目になります。大学卒業後にフォレスト熊本へ入社しました。大学4年間を振り返ると、実習や研究発表など学習することが多くて、音を上げそうになっていた私を、根気強く指導して下さいました。大学の先生方や友人を思い出します。今、こうして人と関わる仕事をしながら、相手の事を真剣に考え、向き合う時にたくさんの人に支えられたことを思い出して感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも人との出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れずご利用者の皆様と笑いあえる日々を送っていけたらと思います。

新年度もフォレスト熊本スタッフ一同宜しくお願い致します。

療養棟2階 中瀬 京



# お花見

フォレスト熊本

## 行事写真館

療養棟 3月30日(土)

通所リハビリ 4月1日(月)~3日(水)



- ① 耐熱容器に粉・砂糖を混ぜ合わせ、中に水を入れレンジで3分加熱する。
  - ② 取り出し、一度ませる。さらに3分加熱する。
  - ③ 濡らした布巾に取り出し、表面がなめらかになるまで生地をこねる。
  - \* 熱いので注意!!
  - ④ 手を水で濡らし生地を10等分にし、小判型にのばす。
  - ⑤ あんを包み二つ折りにし形を整える
- \* 柏の葉でつつんだら「柏餅」です



作り方

おすすめ

## お料理教室

管理栄養士 福島貴子

材料

- ・上新粉(団子の粉) 200g
- ・砂糖 80g
- ・水 280cc
- ・あんこ 200g

あみ団子(米の粉団子)

レンジで簡単おやつ!

